

給与情報等の公表について

観音寺市の職員給与情報等について公表します。「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」(平成17年6月21日閣議決定)において、地方公共団体における給与等の比較分析を可能とするためのシステムを構築することとされ、香川県のホームページともリンクされています。

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (16年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 15年度の人件費率
16年度	人	千円	千円	千円	%	%

(2) 職員給与費の状況(普通会計予算)

区分	職員数 A	給与				一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
17年度						

(3) 特記事項

平成17年10月11日に合併したため、平成16年度の支給実績等合併前の状況を記載する欄については、「 」としました。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(17年10月11日現在)

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
観音寺市	47.07 歳	376,440 円	426,605 円 393,650 円
国	40.03 歳	329,728 円	382,092 円
類似団体	43.00 歳	348,514 円	419,206 円 388,317 円

技能労務職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
観音寺市	48.08 歳	328,796 円	369,523 円 344,565 円
うち清掃職員	47.04 歳	356,830 円	453,328 円 391,373 円
うち給食調理員	49.02 歳	311,236 円	322,695 円 318,847 円
うち校務技師	51.00 歳	367,827 円	374,346 円 370,500 円
国	48.01 歳	285,008 円	316,350 円
類似団体	47.05 歳	311,423 円	345,165 円 334,468 円
民間事業者平均	50.04 歳	-	346,378 円

教育職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
観音寺市	46.09 歳	365,517 円	383,457 円 377,608 円
香川県	43.07 歳	370,769 円	416,649 円
類似 団 体	42.05 歳	346,403 円	382,547 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、17年10月11日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、調整手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。このうち、上段はこれら全ての諸手当込みのものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
 また、下段は国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況 (17年10月11日現在)

区 分		観音寺市		国	
		初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料
一般行政職	大学卒	170,700 円	184,400 円	170,700 円	184,400 円
	高校卒	138,800 円	148,500 円	138,800 円	148,500 円
技能労務職	高校卒	138,800 円	148,500 円	-	-
教育職	大学卒	170,700 円	184,400 円	-	-
	短大卒	円	円	-	-

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	円	円	円
	高校卒	円	円	円
技能労務職	高校卒	円	円	円
教育職	大学卒	円	円	円
	高校卒	円	円	円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

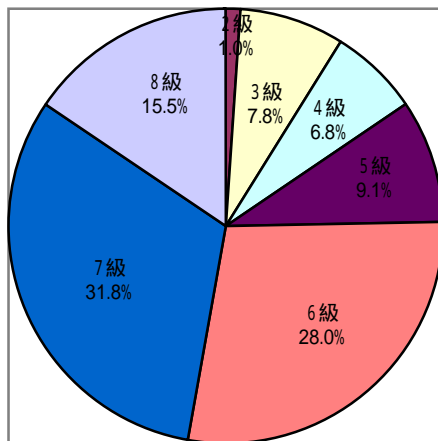
(1) 一般行政職の級別職員数の状況（17年10月11日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
8 級	部長、支所長、課長、事務局長	46人	15.5%
7 級	課長補佐、室長、所長、次長、副主幹	94人	31.8%
6 級	課長補佐、室長、次長、副主幹、主査	83人	28.0%
5 級	係長、主任	27人	9.1%
4 級	係長、主任	20人	6.8%
3 級	主事、技師	23人	7.8%
2 級	主事、技師	3人	1.0%
1 級	事務員、技術員	0人	0.0%

(注) 1 観音寺市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

平成17年10月11日の構成比



(2) 昇給期間短縮の状況

区 分		全 職 種
16年度	職 員 数 A	人
	普通昇給機関(12～24月)を 短縮して昇給した職員数 B	人
	比 率 B / A	%
15年度	職 員 数 A	人
	普通昇給機関(12～24月)を 短縮して昇給した職員数 B	人
	比 率 B / A	%

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

観音寺市		国	
1人当たり平均支給額(16年度)		-	
千円			
(16年度支給割合)	(16年度支給割合)	(16年度支給割合)	(16年度支給割合)
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
月分	月分	月分	月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		職制上の段階、職務の級等による加算措置 有	

(2) 退職手当(17年10月11日現在)

観音寺市			国		
(支給率)	自己都合	勤続・定年	(支給率)	自己都合	勤続・定年
勤続20年	21.00 月分	27.30 月分	勤続20年	21.00 月分	27.30 月分
勤続25年	33.75 月分	42.12 月分	勤続25年	33.75 月分	42.12 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 2～20%		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 2～20%	
1人当たり平均支給額	千円	千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

(3) 調整手当 (17年10月11日現在)

支給実績(16年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

(注) 当該手当はありません。

(4) 特殊勤務手当 (17年10月11日現在)

支給実績(16年度決算)		千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)		円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(16年度)		%	
手当の種類(手当数)		11	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
市税徴収手当	税務職	1 外勤して直接市税の徴収業務に従事 2 税の滞納処分、差押物件の引揚げに従事	1 1日250円 2 1日200円
感染症防疫手当	一般行政職 看護保健職	感染症患者の収容又は消毒の業務に従事	1日2,000円
福祉事務従事手当	一般行政職	1 生活保護業務に直接従事 2 人権推進の事務に従事	1 1日250円 2 1日250円
行旅病死処理手当	一般行政職	行旅病死の処理及び死体の収容業務に従事	1人1件につき9,000円
塵芥収集手当	技能労務職	1 塵芥の収集作業に直接従事 2 塵芥収集車の運転に従事	1 1日800円 2 1日150円以内
し尿処理手当	技能労務職	し尿の処理作業に直接従事	1日800円
犬、猫等死体収集作業手当	一般行政職 技能労務職	直接、犬、猫等の死体収集作業に従事	1件につき300円
下水路等清掃手当	技能労務職	1 下水路等の清掃業務を本務とする職員で直接作業に従事 2 下水路等の清掃業務に係る車両の運転に従事	1 1日800円 2 1日150円以内
離島勤務手当	一般行政職	離島勤務を本務とする職員で、伊吹島以外に住所を有する	1日250円
機関長手当	海事職	連絡船の機関長職	1日250円
乗船手当	海事職	連絡船で乗船作業に従事	1日400円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(16年度決算)	千円
支給職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)	千円
支給実績(15年度決算)	千円
支給職員1人当たり平均支給年額(15年度決算)	千円

(6) その他の手当(17年10月11日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(16年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)
扶養手当	・配偶者 13,500円 ・配偶者以外で2人まで 6,000円 ・その他 5,000円 ・配偶者がいない場合の1人目 11,000円 ・16歳年度初めから22歳年度末までの加算 5,000円	同じ		千円	円
住居手当	・自宅居住者のうち新築、購入後5年を経過するまでの世帯主 2,500円 ・借家、借間居住者(最高支給限度額) 27,000円	同じ		千円	円
通勤手当	・交通機関利用者 運賃相当額 ・自動車等の使用者 使用距離区分に応じ支給(片道2km以上)から最高 24,500円	同じ		千円	円
管理職手当	・部長職 14% ・課長職 12% ・主幹 10% ・課長補佐職 9%			千円	円
宿日直手当	宿直又は日直勤務1回につき 4,200円			千円	円
管理職特別勤務手当	つぎの職にある職員が臨時又は緊急の必要等により週休日又は祝祭日に勤務した場合 ・部長職 6,000円 ・課長職 5,000円 ・課長補佐職 4,000円			千円	円

5 特別職の報酬等の状況（17年10月11日現在）

区 分		給 料		月 額		等
給料	市長	947,000	円	(参考)類似団体における最高/最低額		
	助役	730,000	円	1,003,000 円 /	637,500 円	
	収入役	664,000	円	833,000 円 /	552,000 円	
報酬	議長	539,000	円	746,000 円 /	536,400 円	
	副議長	465,000	円	645,000 円 /	376,000 円	
	議員	430,000	円	558,000 円 /	324,700 円	
期末手当	市長	(16年度支給割合)		月分		
	助役					
退職手当	議長	(16年度支給割合)		月分		
	副議長					
退職手当	市長	(算定方式)		(支給時期)		
	助役	$947,000 \times 500 / 100 \times \text{勤続年数}$		任期毎		
	収入役	$730,000 \times 350 / 100 \times \text{勤続年数}$		任期毎		
		$664,000 \times 250 / 100 \times \text{勤続年数}$		任期毎		

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

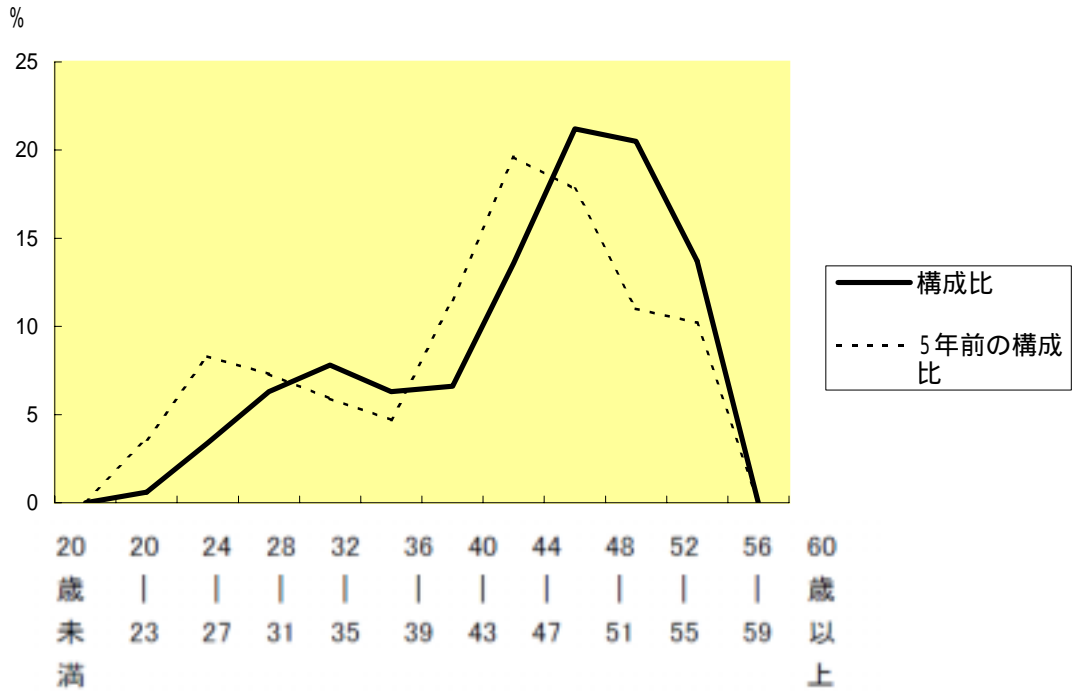
(各年4月1日現在の旧市町合計)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成16年	平成17年		
一般行政	議会	10	10	0	
	総務企画	104	102	2	市民係、システム化に伴う職員減等
	税務	34	32	2	資産税係の職員減等
	労働	0	0	0	
	農林水産	33	35	2	災害による事務量増等のため
	商工	11	11	0	
	土木	34	36	2	災害による事務量増等のため
	民生	123	116	7	退職不補充等
	衛生	78	72	6	係長職の兼務、退職不補充
	小計	427	414	13	[参考:類似団体の職員数387人]
特別行政	教育	148	138	10	幼稚園教諭・校務技師の退職不補充等
	消防	0	0	0	
	小計	148	138	10	[参考:類似団体の職員数151人]
公営企業等	水道	34	30	4	浄水係の職員減等
	下水道	12	12	0	
	その他	50	46	4	わたつみ苑の廃止等
	小計	96	88	8	
総合計		671 [806]	640 [806]	31 [0]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 []内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況（17年4月1日現在の旧市町合計）



区分	20歳未満	20歳23歳	24歳27歳	28歳31歳	32歳35歳	36歳39歳	40歳43歳	44歳47歳	48歳51歳	52歳55歳	56歳59歳	60歳以上	計
職員数	0人	4人	22人	40人	50人	40人	42人	87人	136人	131人	88人	0人	640人

(3) 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況（平成17年10月11日に合併したため未策定）

定員適正化目標（数・率）

計画期間		数値目標
始期	終期	

平成22年4月1日現在における定員の数値目標

--

定員適正化計画の年次別進捗状況（実績）の概要

（各年4月1日現在）

部門	区分					計	(参考) 数値目標
一般行政	減員					(%)	
	増員						
	差引						
	職員数						

7 公営企業職員の状況

(1) 観音寺市水道事業 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B / A	(参考) 15年度の総費用に占 める職員給与費比率
16年度	千円	千円	千円	%	%

イ 予算

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり給与費 B / A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
17年度						

ウ 特記事項

職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（17年10月11日現在）

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
観 音 寺 市	47.04 歳	378,203 円	円
団 体 平 均	44.01 歳	375,763 円	円
事 業 者	歳		円

職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

観音寺市		観音寺市一般行政職	
1人当たり平均支給額(16年度) 千円		1人当たり平均支給額(16年度) 千円	
(16年度支給割合)		(16年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
月分	月分	月分	月分
() 月分	() 月分	() 月分	() 月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		職制上の段階、職務の級等による加算措置 有	

イ 退職手当（17年10月11日現在）

観音寺市		国	
(支給率)	自己都合 勸奨・定年	(支給率)	自己都合 勸奨・定年
勤続20年	21.00 月分 27.30 月分	勤続20年	21.00 月分 27.30 月分
勤続25年	33.75 月分 42.12 月分	勤続25年	33.75 月分 42.12 月分
勤続35年	47.50 月分 59.28 月分	勤続35年	47.50 月分 59.28 月分
最高限度額	59.28 月分 59.28 月分	最高限度額	59.28 月分 59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 2~20%	その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 2~20%
1人当たり平均支給額	千円 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

ウ 調整手当（17年10月11日現在）

支給実績(16年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

(注) 当該手当はありません。

エ 特殊勤務手当（17年10月11日現在）

支給実績(16年度決算)		千円
支給職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)		円
職員全体に占める手当支給職員の割合(16年度)		%
手当の種類(手当数)		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務

(注) 17年10月11日現在当該手当はありません。

オ 時間外勤務手当

支給実績(16年度決算)	千円
支給職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)	千円
支給実績(15年度決算)	千円
支給職員1人当たり平均支給年額(15年度決算)	千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含みます。

カ その他の手当（17年10月11日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (16年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (16年度決算)
扶養手当	・配偶者 13,500円 ・配偶者以外で2人まで 6,000円 ・その他 5,000円 ・配偶者がいない場合の1人目 11,000円 ・16歳年度初めから22歳年度末までの加算 5,000円	同じ		千円	円
住居手当	・自宅居住者のうち新築、購入後5年を経過するまでの世帯主 2,500円 ・借家、借間居住者 (最高支給限度額) 27,000円	同じ		千円	円
通勤手当	・交通機関利用者 運賃相当額 ・自動車等の使用者 使用距離区分に応じ支給(片道2km以上)から最高 24,500円	同じ		千円	円
管理職手当	・部長職 14% ・課長職 12% ・主幹 10% ・課長補佐職 9%			千円	円
宿日直手当	宿直又は日直勤務1回につき 7,200円			千円	円
管理職特別勤務手当	つぎの職にある職員が臨時又は緊急の必要等により週休日又は祝祭日に勤務した場合 ・局長 6,000円 ・課長職 5,000円 ・課長補佐職 4,000円			千円	円

定員適正化計画の数値目標及び進捗状況（平成17年10月11日に合併したため未策定）

ア 定員適正化目標（数・率）

計画期間		数値目標
始期	終期	

イ 平成22年4月1日現在における定員の数値目標

--

ウ 定員適正化計画の年次別進捗状況（実績）の概要